

ローターアクト方針大幅改正を論議

第259地区ガバナー 谷口 榮

1988～89年度国際ロータリーアジア第1・第3ゾーンローターアクト研修会は、昨年京都で第1回が開催されたが、本年度は当第259地区の主催、地区内ローターアクトクラブのホストのもとに、平成元年3月4日、5日の両日、新横浜メモリアル玉姫殿において盛大に挙行された。

当日は全国29地区中28地区より、ローターアクト地区代表、役員ならびに地区ローターアクト委員長等160人余、当地区バスターガバナー、役員、ローターアクト委員長および地区内ローターアクト150人余が参加し、本研修会のテーマである

「夢を、希望を、そして行動を!!」

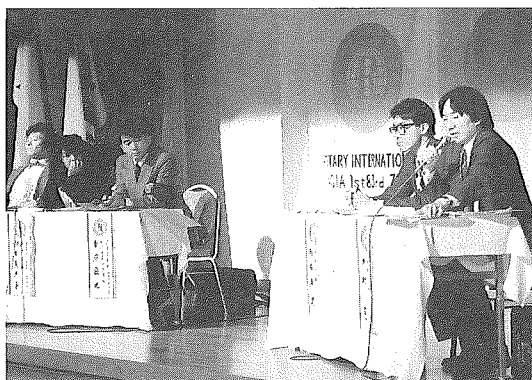
のもとに、活発なるフォーラム、シンポジウムを実施した。国際ロータリーローターアクト委員会委員となった船橋西ローターアクトクラブの木村憲君も両部門に出席し、このたびのR I 理事会発表の「ローターアクト方針の大幅改正」による国際ロータリー、ロータリークラブとローターアクトの関係がますます強化されたことなどの説明があり、活発な質疑が展開された。

私は、今回の研修会を主催するにあたり、地

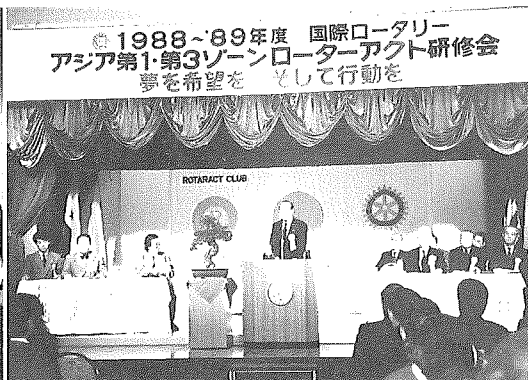
区内ローターアクト会員が、栗原宏之実行委員長、宮崎哲朗地区代表のもとに、一糸乱れぬチームワークにより、周到な準備により、素晴らしい大会運営を行ったのを見て、その若さと行動力に頭が下がった次第である。かくして本研修会は参加者全員感激のうちに2日間の全日程を終了、来年の再会を約して解散した。

現在、当地区はもちろん各地区においても、ローターアクトの拡大増強に悩んでいるが、この研修会で生々しいローターアクトの声を聞きロータリーも、この問題に積極的に立ち上がるべきことを、参加ロータリアン一同身にしみて感じたのであった。またこの会合にて痛感したことは、ローターアクトがロータリーを知らないということであった。これはロータリーとして大いに反省すべきであり、ロータリーについての情報伝達の不足を解消する急務を感じた。

なおR I 理事会では、地区ローターアクト代表を対象とする研修会を開催すべきことを今回正式に発表している。次年度の研修会は第272地区の主催と決定したが、この運営費その他についてはロータリー各地区との協議が必要となるのではないかと思う。



シンポジウムでR I・RA委員木村憲君



谷口榮ガバナーのあいさつ